



# 長期貸出 返却日のおしらせ

# ルチャ・リブロ新聞

第18号(2018年3月)

冬期休館中の長期貸出をご利用されている方は、

3/27(火)までにご返却ください。郵送での返却も承

っております。(送料はご自身でご負担ください。)

長期貸出後の期間延長、同一本の貸出はできません  
ので、ご了承くださいませ。

## 3月の開館日

月	火	日
	13	18
19	20	25
26	27	

10:00-17:00 開館

\*3/31(土)はイベント。詳細は後日お知らせします。研究会は5月より再開します。

## イベントのおしらせ

3/31(土)18時30分～ 大和郡山の書店・とほんさ

んと協同でトーク・イベント「オムラヂとほん」を

開催します。第一回のゲストは光嶋裕介さん(建築

家)。場所などの詳細はHP、Facebookにてお知らせし

ます。お問い合わせはルチャ・リブロまで。



ルチャ子の読書日記

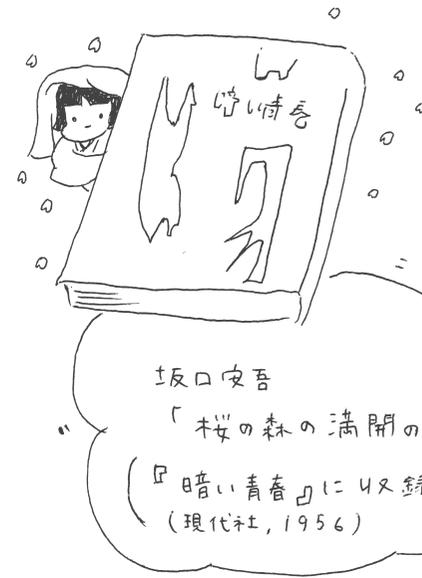
# おすすめ

『遠い声 遠い部屋』(トルーマン・カポーティ, 1971.7)

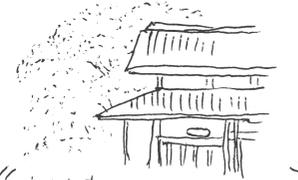
父を捜して小さな田舎町を訪ねてきた少年・ジョエル。ジョエルを中心に、子どもから大人に近づく不安や、遠いあこがれ、移ろいやすい心を描き出します。

「麻薬常用者でアル中でホモで天才」と自称したカポーティ自身の、少年期の体験に基づく創作であるとされ、一部登場人物にもモデルが居るとされています。「彼の死は生きることのすべてが病因だった」と友人に言わしめたカポーティの根底に迫ってみませんか？

# 特集・花咲くころに読みたい本



山賊の男と  
美しい女の物語。  
安吾の描く女性には恐ろしい。  
究極の愛の形、とも  
云えるような妖しく美しい  
お話です。



「当館蔵に『花咲くころに読みたい本』があります。ぜひ『桜の森の満開の下』も読んでみてください。

坂口安吾  
「桜の森の満開の下」  
『暗い青春』に収録  
(現代社, 1956)

ルチャ・リブロは東吉野村で活動している小さな私設図書館です。  
貸出可能冊数：3冊まで  
貸出期間：1ヶ月  
<https://lucha-libvo.net/>  
所在地：吉野郡東吉野村鷺家1798  
(天誅組終焉の地石碑スグ)  
近鉄榛原駅より15分 東吉野村役場行バス乗車、バス停「鷺家」より徒歩10分

